



『 薬剤耐性菌（AMR）について 』

風邪を引いたときに、以前処方された抗菌薬を服用する人もいないでしょうか？

現在、抗菌薬の不適切な使用を背景として、抗菌薬が効かない病原体（薬剤耐性菌）が世界的に増加する一方、新たな抗菌薬の開発は減少する傾向にあり、国際社会でも大きな課題となっています。何も対策を取らず、現在のペースで薬剤耐性菌が増加した場合、2050年には3秒に1人が感染症で死亡すると予測されています。

また風邪の原因の多くはウイルスであり抗菌薬・抗生物質は効きません。薬剤耐性菌の増加を抑えるために、私たちが心がけることは、

①日頃から手洗い・うがい・咳エチケットをすること。②受診時に症状を詳しく伝えること。③服用量・服用期間を守って抗菌薬・抗生物質を最後まで服用すること。④分からない事は医師または薬剤師に聞くこと。⑤お薬手帳を携帯することです。

安心・安全のため、薬の正しい知識を身につけ、薬を正しく服用していきましょう。



鹿児島厚生連病院
薬剤師

須賀理恵